

萩の会 60周年 プレ企画

夏祭り で バルーンアート

8月11日目黒区中町の障害児のデイサービス施設の夏祭りが開催され、萩の会の60周年プレ企画としてバルーンアートをを行いました。先生は柿の木八雲分会の千葉整子さんです。犬やお花など見本をみせ、好きなものを一人一人リクエストしてもらいます。千葉さんが風船を膨らませると子ども達から歓声が上がります。見知らぬ大人に警戒して泣いていた子どもも動物を握って



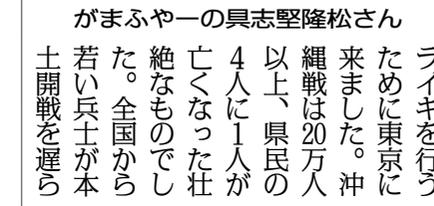
施設と萩の会の皆さん



先生の千葉整子さん(中央)

離さなかつたりピストルや剣で先生に向かっていく子など大盛り上がりでした。子ども達も達するうちに、バルーンアート講習も行いました。萩の会

551人	長野県	1,376人	岐阜県	1,000人	
府	2,546人	千	2,339人	兵庫	553人
知	1,000人	島	1,975人	大分	82人
崎	1,600人	北	82人	朝鮮	82人
英	82人	北	82人	朝鮮	82人



がまふや一の具志堅隆松さん
来ました。沖縄戦は20万人以上、県民の4人に1人が亡くなった壮絶なものでした。全国から若い兵士が本土開戦を遅ら

はイデオロギーではなく、人道上の問題として国連の先住民の権利に関する会議でも連行された人も今も故郷に帰れず眠っています。そしてガマで自決したり、飢えや病で亡くなった県民の遺骨は、今も残され、一部は米軍基地となり、調査もされていない地域もあります。石炭岩と遺骨は見分けがつかなく、小さなスコップで作業されています。国がDNA鑑定をして遺族に帰されるのは戦後76年たってやっと始まりました。 沖プロ(Y)

辺野古の埋め立て止めよう 具志堅隆松さんのお話

8月13日文教シビックホールで戦没者の遺骨を掘る「がまふや」具志堅隆松さんのお話を聞きました。具志堅さんは、14日15日抗議してハンガーストライキを行うために東京にきました。沖縄戦は20万人以上、県民の4人に1人が亡くなった壮絶なものでした。全国から若い兵士が本土開戦を遅ら



世界大会の行程を説明する荻野さん

7月27日目黒支部会館にて参加者14名で壮行会が実施されました。目黒平和委員会の荻野さんを中心に進められ原水禁大会のスケジュールの内容と参加者の町田新一さん、竹田剛さんと書記から北林哲さんが意気込みを語りました。また地域から岡村さんと共産党の斎藤裕子区議からエールをいただきました。8月6日広島は被爆77年の「原爆の日」を迎えます。1945年8月6日午前8時15分、アメリカ軍のB29爆撃機が、広島市上空約9600メートルで世界初の原子爆弾リトルボーイを投下し、上空約600メートルで爆発した。広島市街は壊滅し、放射線による急性障害が一応おさまった1945年12月末までに約14万人が死亡

原水禁大会 目黒代表団壮行会

7月27日目黒支部会館にて参加者14名で壮行会が実施されました。目黒平和委員会の荻野さんを中心に進められ原水禁大会のスケジュールの内容と参加者の町田新一さん、竹田剛さんと書記から北林哲さんが意気込みを語りました。また地域から岡村さんと共産党の斎藤裕子区議からエールをいただきました。8月6日広島は被爆77年の「原爆の日」を迎えます。1945年8月6日午前8時15分、アメリカ軍のB29爆撃機が、広島市上空約9600メートルで世界初の原子爆弾リトルボーイを投下し、上空約600メートルで爆発した。広島市街は壊滅し、放射線による急性障害が一応おさまった1945年12月末までに約14万人が死亡



目黒船入場から参加者出発



目黒区から渋谷区へ引継ぎ

7月28日(日)平和行進に参加しました。目黒区舟入場公園で昼食休憩後、行進再開の挨拶を行い、渋谷区神宮通り

公園に向け出発し、気温33度の猛暑の中、暑さ対策、コロナ対策を取りながらスローガンを掲げ口々に、「戦争反対」「核持ち込み反対」「ウクライナ侵略を許すな」等々訴えながら平和を祈りつつ行進しました。 山口 真理子

7月28日(日)目黒支部会館2回で、新型コロナウイルス感染者数の増加によりと楽しくなり、笑い声が上がり、笑顔に練習が久し振りに始まりました。女性5人、男性7人の皆さん毎に体を使い、とって

7月28日(日)目黒支部会館2回で、新型コロナウイルス感染者数の増加によりと楽しくなり、笑い声が上がり、笑顔に練習が久し振りに始まりました。女性5人、男性7人の皆さん毎に体を使い、とって

平和の夕べ

とき 8月26日19時~

ところ 東京土建目黒支部会館

原水禁大会参加者の報告と交流

教宣学校
戦災資料センターで体験聞く

武力にたよらない平和を

東京大空襲・戦災資料センターで1945年3月10日の東京大空襲を体験し証言者として活動している藤間宏夫さんの話を聞いた。藤間さんは8歳の時に明治座近くの浜町で空襲を体験、自宅の倒壊に巻き込まれたが母親から助けられ、火傷を負いながら弟と三人倉庫の中に逃げて奇跡的に助かる。自宅は焼け落ちて帰る所もなく知り合いがいた六本木に避難したが5月25日の空襲に襲われた。逃げ場所もなくやっと見つけた公園のどぶ川に家族で仰向けになり周りの木々が燃えてゆくのを見ていた。喉の乾



当時の体験を語ってくれた藤間宏夫さん

きからどぶ水を飲み、もう終わりだと思っていたら火災が鎮火してゆき助かったと話す。学童疎開した子どもたちは飢えてはいたが、空襲に遭うこともなく生き残った。東京が空襲で焼け野原になっただけで済んだ。私は東京で2回も空襲に遭い火傷や食料不足にあい多くの焼け焦げた死体を見た。少年時代の記憶が消せないでいる。この中で生き残ったのが良かったのか悪かったのかも考え

わたしの戦争「青い空」

私は昭和12年に生まれる85歳。東京・品川で育ちましたが、家が打ち壊しのため強制疎開で父の出身地である静岡県清水へ移って来ました。疎開者のせいでもあったのか、食糧事情は厳しく常に空腹を抱えていたため、その年の冬には栄養失調からしもやけがひどくなり、朝になると両足の裏が丸々と膨れ上がり立って歩くこともできなくなりました。皆が学校から帰ってくる頃は足の腫れもひき外で遊びまわっているの

で、ずる休みと白い眼で見られたようです。この頃はB29爆撃機の編隊も御前崎から上陸し、東京方面へ行く機影を何度も見かけました。その都度警戒警報が鳴り学校も授業中止となるので、陽気が良くなって私の足も治って学校での授業の記憶は殆どありません。戦争に反対できなかった。戦争はいつも弱いものが犠牲になり、戦後も食料不足から栄養失調でぼろぼろになり亡くなってゆく。戦争孤児で浮浪者となった子どもたちが浮浪児狩りをして閉じ込められた時期もあった。子どもたちが悪いわけではない。戦争の犠牲者だ。どうして日本は戦争をしたのか、何が行われ

たかを学んで考えて欲しいと藤間さんは伝えてくれた。戦争で失われた命は戻らず、悲惨な戦争体験はトラウマとして残り続ける。岸田政権の軍事力による平和はないと思う。武器は人を傷つける道具でしかない。武力にたよらない平和を考えることを学んだ。

たのは、何とも言えない音がして次の瞬間、黒い油脂が飛び散ったかと思ったら、それが発火しパッと燃え上がったのです。私は恐ろしさも忘れて、目の前で大きな火花を見たような気持ちでその光景に見入ってしまいました。その後、襲撃がどう治まったのか、どうやって帰路に就いたのか全く記憶がありません。更に危機状態になったのは7月31日です。すでに駿河湾に侵入してきた米駆逐艦は浜松の工業地帯を攻撃し、清水にも艦砲射撃の矛先を向けてきました。攻撃があったのは夜間でした。頭の上をヒュヒュと音を立てて弾丸が飛んでゆきます。どこへ逃げればいいのかあまりにもその飛び交う弾丸の音の大きさに戸惑い、避難の方法もわからずただ布団をか

ぶってじっとしているばかりです。幸いにして弾丸の着地点の内側にて被害は免れまし

団を重ね、それを弾除けにして下の段に避難をして襖を明け放して様子を見ていました。戦艦機がやってきたのはそれ以前にもありましたが、直接襲ってくる気配はなく偵察かとも思われましたが、私たちは警戒を怠らさず避難しました。ま

を重ねて弾除けにするとか、白い服を着て動くといった戦時中の心得は小学生の私でも分かっていた。そんな戦争の重しが解けたのが8月15日だったのです。その日の朝、機影の一片も見えず、爆音も空襲警報のサイレンの音も、それどころかすべての音が消えてしまったようなシーンとした空気感、空はどこまでも蒼く高く、私にとってあの敗戦の日の空は、どの空よりも抜けるように高く蒼い空でした。柿の木八雲 青木 清



学習後は亀戸で餃子

こげた死体を避け、母は火傷に水をかけ続けてくれた。皮膚が剥がれてきたらケロイドになってしまおうから水で冷やすんだ。寒いくらい我慢しなさい」と母に言われた。墨田川にも沢山の亡くなられた方が浮か

展示室には焼け野原となった土地や、そこに黒い塊のようになってきた黒焦げの死体の写真があり、目を覆いたくありません。8月15日正午、玉音放送により戦争は終わりました。最後に藤間さんは「戦争は国民と子どもが一番の犠牲者になる。大きなことだと思っ

検診へ行こう

9月20日～10月31日の期間

目黒支部集団検診が9月20日～10月31日の期間で取り組まれます。また自身の為、仲間

生活習慣病や職業病などの早期発見・早期治療などの為に健康診断を大いに活用してください。多くの組合員

SDGs・なるほどクイズ

- Q8 人間が使える水は地球の水の何%? ①10% ②1% ③0.01%
- Q9 水道水をそのまま飲める国は世界で何カ国? ①9カ国 ②49カ国 ③90カ国
- Q10 石油はあと何年でなくなる? ①50年 ②100年 ③500年

「SDGsなぜなにクイズ図鑑」から (宝島社・笹谷秀光監修)

青年部レク

「生」と「死」を実感

飛んで埼玉万事旅行

8月7日(日)に青年部、バンジージャンプ等を行いました。当日は埼玉県の秩父へ、日まではバンジージャンプを頑張れたし、バ



アトラクションを楽しむ浅野和輝部長

が待っていると考えるだけでこれ以上が気になって夜しか眠れませんでした。

さて、アトラクションとしてのバンジージャンプの特異性については以前から注目していましたが、実際に体験してみるとそれは想像を超えるものでした。そもそも、高いところから自分の意志で



飛降りて生身の体が地面めがけて落ちていくという経験は死なないといけないが、生を保存しつつ行えたので貴重な経験でした。飛び降りに恐怖と同時にエクスタシーが生じ、そこからは対義語として分断された「生」と「死」ではなく、コインの表と裏のように共存している「生」と「死」を実感しました。

青年部長 浅野和輝



目黒社保協総会開く

活発な運動の再開を

7月16日(日)目黒区第5・6会議室にて目黒社会保険推進協議会の総会が開催され、全体17人が参加しました。土方公久事務局長の経過報告、活動方針案では、年間7回の駅頭宣伝行動と原則月に一回の幹事会の開催などの報告がありました。

今年度は2年間で中止となっていた区民集会の再開や社会保険充実を図る為の、所属団体連名による対区統一要



最初に小川さんは、「全世代型社会保障ではなく、全世代負担型社会保障です」と切り出し、年金受給年齢の引き上げや、後期高齢者の窓口負担の引き上げ等次々と後退していく社会保障制度の説明や歴史など幅広く講義していただきました。

はならないです。」と訴え、続いて共産党参議院議員田村智子さんは「先ほどからお話ある通り国会内で改憲勢力3分の2と言われて

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

求書の提出を求めている事が承認され、その後加盟9団体からの活動報告、予算、役員及び執行体制を確認し承認されました。

休憩を挟み、『全世代型社会保障とは』をテーマに東京社会保障推進協議会から小川均さんを講師に招き学習会を行いました。

足を反省しました。生まれながら消費税があり、日本が低迷している記憶しかない

事務局 Y

世界でも、何もなければ社会保障が悪くなり続ける、運動は必ず必要なだと再認識する事が出来ました。目黒社保協

ではないのでご安心を。情報過多で詰め込み教育、地球環境やSDGsにのめりこみ過ぎる女性等、世相も取り込まれ、シリアスな場面も綺麗な景色に癒されます。私には世代的にしっかり刺さる物語なので別世代の方にも観てもらい感想を聞きたくなりました。フ

Y・N

「この改憲策動が何を指しているのかを具体的に問う事の出来る、そういう局面がやってきているんだと思います」と訴えました。

時間逼迫していると感じながらより運動への意識を強めて行きたいと思えます。

教宣部 根井 良聡

良聡

「先ほどからお話ある通り国会内で改憲勢力3分の2と言われて

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

良聡

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし

良聡

いままでもの悪政の事、また税金の使い道など、これらの点からし